

安部磯雄氏 講演

昔に於て積極的産兒制限法が行はれて居つた。戦争によつて、傳染病によつて又は子供を殺すことによつて、はた又人を食する事によつて死亡者を多くする方法が行はれて居つた。これが積極的産兒制限法である。この方法は殘酷であり罪惡であるが爲に有名なる英國の經濟學者マルサスは豫防的制止的道德的の産兒制限法を發見したそれは外でもない結婚を延期することである。子供を養ふことの出來る迄獨身で居る。生涯子供を養ふことが出來なければ生涯獨身でこの世を去るといふので、これは積極的制限法の如く殘酷なものではない。又道德上から云ふても何等差支へないものである。たゞ性欲を制すればよいのである。成程この方法は實際に行はれてゐる。貧乏人は殆ど結婚を延期して居る、高等教育を受けた人々も大抵は結婚を遅くして居る。

この點から考ふればマルサスの意見は眞理が含んで居る、然しなが

安部磯雄氏
講演